

ひめだ高宏ニュース

No. 753

'07. 1. 30

もう2月、春の始まりです。

今年の冬は暖冬でした。スキー場が雪不足で営業がたいへんという報道もありました。暑さより寒さに強い私、ひめだには助かる気候ですが、地球温暖化のせいならば、ちきつと心配です。1月から「ひめだ」の旗とタスキをつけて街頭宣伝を始めました。2月は4月、草木の更生することだとか。春です。

外灯やカーブミラーの設置

議会報告の県・市政だよりを持って地域をまわっていると、いろいろな要望が出されます。

この間、外灯の設置、カーブミラーの設置が要望ナ

水、と水ぞいの地域の自治会長さんに力を貸していたとき、市に申し入水設置できました。県に關すること、ふじい健太郎議員に連絡し要求を実現しています。

1. 県庁外の有識者、専門家による調査委員会をただちに設置する。
2. 前知事の親睦会の全容を解明する。
3. 入札制度のあり方を見直し、再発防止策をとる。
4. 県職員及び特別職の倫理条例を制定する。
5. 公益通報条例を制定す

日本共産党
県会議員団

仁坂知事への的予算要求

日本共産党県会議員団が昨年12月20日、仁坂知事に提出した「2007年度和歌山県予算案編成にあつての申し入れ」の報告です。

当面する緊急の要望

1. 総合事件の全容を解明し、再発防止につとめる
1. 県庁外の有識者、専門家による調査委員会をただちに設置する。
2. 前知事の親睦会の全容を解明する。
3. 入札制度のあり方を見直し、再発防止策をとる。
4. 県職員及び特別職の倫理条例を制定する。
5. 公益通報条例を制定す

6. 職員への不当・不法な働きかけを禁止する条例を制定する。
7. 県と契約関係にある企業の役員が、知事および知事になるうとする者に対し、政治献金を禁止する条例を制定する。

こんにちは

県会議員の
ふじい健太郎です。
(No. 182)

4月8日の県会議員選挙、4月22日の市会議員選挙に向けて地域・職場を訪問し、要望や意見を聞かせてもらっています。

一番多く聞くのは「税金の使い道」の話です。知事の官製談合とヤミ献金問題、市の裏金づくりなど、税金の監視をしっかりとしてほしいということです。

次に多いのは、くらしの問題です。収入は減っているのに医療・介護や教育費などたいへんだと

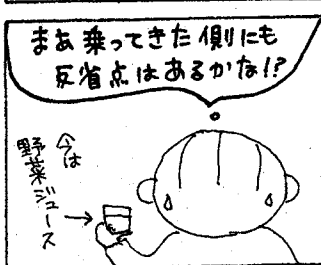
という話です。先日も息子さんが整理解雇された水住送りがなくなつた、たという相談があり、生活保護を申請することになりました。子どもが大きくなつても働くところがないという話や道路の舗装・改修、上下水道の整備など生活に直結した公共事業への要求も多々あります。税金のムダ使いを監視し、自治体が住民のくらしを守るための役割を果たせるようがんばらねばと励まされていきます。



ふじい健太郎
県会議員

フリーの人々
536

あるある
大書典II



を制定する。

2. 高齢者、障害者などの負担軽減をすすめる

1. 県民税の増収分は高齢者などの負担軽減や福祉のために使う。

2. 高齢者への大増税は中止するよう国に求め、県としても県税減免措置をとる。

3. 障害者自立支援法による応益負担の撤回、制度の改正を国に求めるとともに、県として利用者負担の軽減や施設の運営費補助をおこ

なう。

3. 公共事業は生活環境向上や福祉、教育中心に転換を

公共事業は、生活道路の整備、歩道の段差解消、道

県議団から、個別要求は、正規雇用の拡大で、安心して働ける和歌山県に...、県内の高校卒業生を雇用した中小企業に助成金を支給する制度をつくる。...など3項目。

路の点字敷設、県営住宅の新増設、小・中学校の耐震化など、障害者やお年寄りから自由に歩ける待づくりなど、暮らしの福祉型に切り替える。

県政が地場産業、中小高工業者の経営をまもる先頭にたつ...、和歌山県中小企業振興条例を策定し、ベンチャー企業支援や企業誘致に片寄った産業政策を改

個別要求は125項目

こどもたちは

日本共産党



柳沢伯夫^{はくぶ}厚生労働大臣

が、女性を「産む機械」と発言した問題で、日本共産党、民主党、社民党の女性国会議員が20日、柳沢大臣に大臣を辞任す

よう申し入れました。申し入れ後の記者会見で、日本共産党の吉川春子参議院議員は「少子化問題を担当する大臣の発言で、不適格です」と指摘しました。申し入れて吉川議員達は女性に対する人権侵害だと厳しく批判。子どもを産める人も産めない人もあり、子どもを産むことが幸せと

国会議員が賛同。

国会議員が賛同。

明るい希望もてる 政治を!!

日本共産党 演説会

3月10日(土) 夜7時~

JR馬場

ホテル グランヴィア和歌山

井上 健太郎 参議院議員

主催 日本共産党 和歌山地区委員会 (4-32 6-22)

め、現在がんばっている中小企業を支援する。...など10項目。

農林水産業の振興をはかる...、国に米の需給と価格の安定を守る役割を果たすよう求め、政府の100%拠出による不足払い制度をとり、コストにのみあう生産者価格(60キロあたり2千円に近づけるよう求める。...など11項目。

国の医療や福祉切り下げから、県民を守る財政として、安心して暮らせる福祉充実の県づくりをすすめる。医療(14項目)、介護保険(14項目)、国民健康保険(7項目)、障害者福祉(15項目)、防災対策(5項目)、以下、生活環境、環境行政、教育、子育て支援、平和と地方自治について要求しています。

県庁所在中核市の議員定数

1月29日(月)市議会、議員定数問題検討協議会(日本共産党委員は、大柳幹事長と私、ひめだ)が開かれ、6月に設置されたこの問題協議会に出す水たぎ料では、

県庁所在地の中核市で定数が和歌山と同じ46の市は、3市で、和歌山、大分、長崎は44、長野、宮崎は46、宇都宮45、岐阜、奈良、和歌山は42、金沢、高松、高松は40となっています。